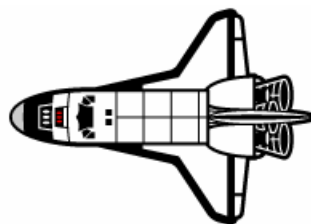




当たり前じゃない

先日、東北地方で地震がありました。週末はずっとテレビの前で被災者の方を見守っていました。最初は、あの悲惨な状況をまったく受け入れることができず、映画やCGではないのか…と真剣に思っていました。あまりにも簡単に家や車が飲み込まれていく姿を、現実だと認識できなかったのです。しかし、どんなに現実逃避をしたくても、あれが現実なのです。翌日には瓦礫の山になった光景が広がっていました。地平線を遮るものはなく、ただ目の前に広がるのは足元の瓦礫のみ…。多くの地域で、そんな光景が見受けられました。しかしそんな状況になってしまった事を呆然と立ち尽くしている時間はありません。どんな状況でも生きていかねばならないのです。食料がないばかりか、被災地は東北地方。雪も降っていて、暖をとる術もありません。そんな光景を目の当たり

にした時、ふっと自分の周りを見渡してみました。電気は明るく照らし、寒かったのでコタツに入り、ついさっきまで温かいお風呂に入り、温かいご飯もお腹いっぱい食べました。テレビを見て「かわいそう…」なんて感じてはいましたが、いつもと何も変わらない生活をしている自分…。本当にそんな自分が嫌になりました。電気も水も食料も全て確保された生活に埋れた自分がなんて幸せだった事か…。そんな当たり前前のことを、すっかりと忘れて、不平不満を言ってきた毎日が、すごく恥ずかしくなりました。被災者の全員が、自分の事より家族のことを心配しており、ボロボロになった体を引きずって、瓦礫の中を探し回っていました。今の甘えた生活が染み付いてしまった自分に、同じことができるだろうか…自分のことだけを最優先に考えてしまわないだろうか…そんな不安でいっ



ぱいになってしまいました。近い将来必ず起こるといわれている、東海大地震の時に、自分はどうしているだろうか…たくさんのことを考えさせられました。とにかくできる事をしよう！ということ、僅かですが、募金をさせていただきました。何もできない…と悲観ばかりしていても、仕方がありません。私たちにできる事は、同じ様な状況になった時に、いかにたくさんの方の命を救うことができるかだと思います。だからこそ、もう少し復旧が進んだら、水や食料も、近所の方たちに配ることができるくらい備蓄しておこう！って思いました。

みんなのひとり言

今、中部ビジネスでは社長の風邪ウィルスが蔓延しています！あのデカイ体から発するくしゃみの大きさは尋常ではありません。社員全員がビクッ！ってなっちゃいます。また社長の性格がウィルスにも転移したのか、今回の風邪はとにかくつこい！もう2週間ぐらいずっと風邪をひいています。大量の鼻水が喉も襲うらしく、声も別人みたいになっていました。体調が悪そうだな…って思っていると「昨日は10時間ぐらい寝たからもう治った！」って言いますが、相変わらずティッシュを片手に動き回っているのは、どうして…？とツッコミを入れたくなってしまいます。社長の嘘にはだまされず、皆さんもうちの社長が来た時は警戒してくださいね。



喜んでしまいました！のコーナー！

今回の震災で、福島県の原子力発電所がトラブルになりました。火事や爆発などがたくさん起こり、大惨事といわれる状態にまでなっていました。そんな時あるニュースに心をうたれました。それは島根県の原発で働いている男性が福島原発へ自ら志願して応援に駆けつけたという記事です。東京電力が他の電力会社に応援要請をした際に、すぐに手をあげたそうです。彼は定年まであと

半年。27歳になる娘もいます。彼は40年にわたり原発の運転に従事し、一番安全なものをやっているという自信があったと言います。家族も本心では反対はしたかったが、いつもどおり送り出したそうです。家ではあまり話さず、頼りない一面もあったそうです。この話を聞いて、涙が出そうになりました。みんなが原発は怖い。危険なものだ！と言っている中で、あえて、みんなの安心を守るた

めに応援に向かうなんて…。何事もなければ、あと半年で悠々自適な生活を送れるのに、あえて多くの命を守るために、渦中に飛び込んでいきました。彼が無事に帰宅することを心からお祈りしていますし、日本の技術力の高さを改めて世界に発信してほしいな～と思いました。あれ？今回はちょっと趣旨がかわっちゃったかな…？

今月の格言！

金がないから何もできない
という人間は、金があっても
何もできない

(小林一三)

自分の事を言われている気が
します…。どこかで、そんな
言い訳を考えていたかもしれ
ません。世の中、お金じゃ
ないですよ～。